

★ コンテスト台本（まじめ編）

- ✓ 台本の変更は可です。
- ✓ Web で回答を録音の場合は、録音する際、まず始めに、エントリーナンバー・ペンネーム・選択した部門を録音して下さい。
(例:「エントリーナンバー1111111、ギター侍、ほら吹き学生部門いきます...」)
- ✓ 録音時間は各 80 秒までです。

自己PR部門

質問

これから1分間で、自己PRをお願いします。

台本

私は人をまとめていくことが得意です。また、友達から相談を持ちかけられたりして、頼りにされてきたと思います。大学では、文芸部の部長を務めていましたが、そこでは年に2回、小説や詩の作品集を発行していました。私は作品をまとめたり、読みやすく編集したりする、といった作業のお手伝いをしていました。そして、皆と相談して、印刷所が決めた入稿日には必ず余裕を持って入稿しました。3年間で1日も締め切りを延ばしてもらったことがないのが私たちの自慢でした。

自己分析部門

質問

あなたの長所と短所について、それぞれ一つずつ教えてください。

台本

はい、行動力があるのが長所だと思います。何事にも必ず困難があると思いますが、結果をあまり恐れないでやり通します。部活でも皆が大変だから止めようといったイベントを、皆を説得して最後まで遣り通した経験があります。

短所としましては、時々早とちりする時があるので気をつけています。行動を起こす前に、ひと呼吸おくように努めたり、また、もし途中で行動に、誤りがあることが分かったら、その時は、ためらわずに中止する勇気が大事だと思っています。

学生生活部門

質問

それでは次に、大学生活についてお聞きします。あなたが大学生活で熱中したことは何ですか。それはどんな影響を自分にもたらしましたか。

台本

はい、クラリネットを吹くのが好きで、1年の時からオーケストラ部に所属しておりました。定期演奏会のほか、クリスマスコンサート、音楽祭などで、みんなで1つ1つの曲を作り上げる楽しさ、お客様に楽しんでもらう嬉しさを知りました。毎日遅い時間まで練習をつづけ、唇が腫れてしまうこともありましたが、全く辛くはありませんでした。何事も努力を重ねるほど、その先にあるステージは素晴らしいものになる！ということを知ることができた時間でした。

交友関係部門

質問

あなたは友人と意見が合わなかったり、考え方が異なった時、どのような対応をしていますか。

台本

はい。まず、相手の意見を良く聞いて、一回、そのまま信じることにしています。そうしないと相手の考えが理解できません。そしてその後で、どちらの意見が正しいかを考えます。どちらも正しくて、2つの考え方がある場合も多いので、その場合、どちらにメリットがあるかを考えて決めます。いずれにしても頭から別の意見を否定しないようにしています。別な角度からものを見れば異なる意見があるのは当たり前だと思います。

日常生活部門

質問

それでは次に、あなたの生活について質問いたします。日頃から、生活する中で心掛けていることや、大切にしていることがあれば教えてください。

台本

はい。私の心掛けていることは、何事にも、いつも責任を持って行動することです。例えば、私は、居酒屋さんの調理場でアルバイトをしていたとき、材料の管理から調理、盛り付けまで、1つ1つに常に気を配っていました。1年たったとき、それを店長に認められて、調理場のリーダーになりました。「あいつに任せておけば大丈夫」と思われる「信頼」を勝ち取るには、時間がかかりますが、責任を持って行動していれば、いつか必ず認められると思います。

志望動機部門

質問

世の中は、何事も自分の思い通りにいくものとは限りません。もしも自分が希望する職種に就けなかったとしたら、あなたはどうされますか。

台本

はい、どんな職種になっても大丈夫です。私は御社の企業の理念と事業内容、そして商品を好きになって応募しております。御社の仕事であれば、生産から販売までの途中に様々な職種や業務があると思いますが、目的と、方向は同じだと思います。自分に最適な職種をご担当者の方に決めていただければ、私は御社で役に立てるように全力を挙げて頑張っていきます。

職業観部門

質問

将来あなたは出世したいですか。出世するとしたら、どんなクラスまで出世したいですか。

台本

はい、できるだけ出世したいと思います。出世は、信頼され、責任が取れる人間だと評価された結果だと思うからです。

私は皆に信頼され、そして責任ある立場に就きたいと思います。私は皆から信頼されると、やり甲斐を感じ、俄然燃えてくる性格です。今の自分には課長さんや部長さんが、どんなお仕事をされているのかが分かりませんので、どんなクラスまでと分かりませんが、可能な限り、上へ上へと目指していきたいと思っています。

社会観部門

質問

それでは次に、学生と社会人の違いについて、お聞きします。あなたは学生と社会人は、どのようなところが違うと思いますか。

台本

はい。学生でも、たとえば、働く場合、責任を持って働いたり、行動したりしなければいけないし、責任を問われることもあります。お金を貰っている以上、社員でも学生アルバイトでも同じです。ですから根本的には同じだと思います。

ただ、社会的な評価が大いに異なると思います。社会人は学生と違って、より重い責任を負わされており、逃げるわけにはいきません。社会人には甘えや口実は決して許されないと思います。

質 問

景気が非常に悪い状況ですが、あなたは今の経済状況をどのようにお考えですか。

台 本

日本の多くの企業が、不景気や円高の影響を受けていますが、ほとんどの企業が、皆、頑張っていると思います。いつまでも不景気や円高を口実にしていてもしかたがないと思います。

「円高が輸出産業の業績不振を加速させている」といいますが、企業体質の強化や新たな事業へのチャレンジで日本企業は頑張っていけると思います。

私は、御社で働くことができたら、少しでも稼げるように、また、会社を元気にできるようにアイデアを出していきたいと思います。